

令和2年度 東日本大震災アーカイブシンポジウム －これまでの10年とこれからの10年－

令和3年1月11日(月・祝) 午後2時～4時
オンライン開催

参加費無料 定員300名

プログラム(敬称略)

事例報告

「大槌町震災アーカイブ～つむぎ～の取組について」

大槌町副町長 北田 竹美

「東日本大震災・原子力災害伝承館における取組について」

福島イノベーション・コースト構想推進機構

東日本大震災・原子力災害伝承館事業課課長代理 瀬戸 真之

総括報告

「東日本大震災アーカイブ宮城の10年」

宮城県図書館資料奉仕部震災文庫整備班主事 日比 遼太

「メディアと震災アーカイブの10年」

NHK放送文化研究所メディア研究部 山口 勝

「震災アーカイブの10年－ひなぎくとの連携を通じて」

国立国会図書館電子情報部主任司書 中川 透

「震災アーカイブのこれまでの10年とこれからの10年」

東北大学災害科学国際研究所准教授 柴山 明寛

パネルディスカッション「これまでの10年とこれからの10年」

進行

柴山 明寛

パネリスト 岩手大学教授、東日本大震災津波伝承館運営協議会会長 南 正昭

上記報告者全員

申込・参加方法

「みちのく震録伝」のシンポジウム案内にある「参加申込みフォーム」からお申込みください。定員に達した時点で受付を終了します。
当日はZoomを利用します。参加方法は後日電子メールでご案内します。

「みちのく震録伝」(右のQRコードからもアクセスできます)

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>



問合せ先

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野

電話 022-752-2099 メールアドレス archiveforum@irides.tohoku.ac.jp



主催
東北大学災害科学国際研究所・国立国会図書館